

入鹿小だより

熊野市立入鹿小学校
校長 樋口 佳洋
平成 30年 2月 28日
第 24号

だれもひとりじゃないよ！

2月19日（月）、入鹿中学校で入鹿中学校区人権フォーラムが開催され、入鹿小学校からは5・6年生の児童が参加しました。6年生吉田柚結さんの開会の言葉に続き、人権作文の発表です。小学校からは中西春華さん、中学校からは桐山晃平さんの作文が発表されました。春華さんの作文は「あいさつの大切さ」について考えたもので、これまでの経験から、「あいさつひとつで心が温かくなる。あいさつのみならず、心が温まる言葉を積極的に自分からかけていきたい」というものでした。

次に、三重県生涯学習センター所長（前木本中学校長）長島りょうがんさんの「そっとやさしく」と題した講演会がありました。長島さんの講演会は歌を交えてのお話なので、「講演会」より「トークライブ」の方がぴったりかもしれません。

ライブの中で長島さんは「自分の力を誰かのために役立ててほしい。99%は自分のためでもいいから1%を誰かのための言葉や行動として出してほしい。」「将来、ふるさと紀和を支えていってほしい。」「大切なのはひとりじゃないと知ること。ありがとうと心から言えること。言葉や行動に出す事」等と、心温まる歌と語りの中で、紀和の子どもたちに呼びかけていました。

私は以前から長島さんのことは存じ上げていましたが、入鹿小学校の卒業生だということ初めて伺いました。小学5年生の時、お父様が入鹿小の教頭として赴任されたので、家族で学校前の教員住宅に住んでおられたとのこと。会終了後に小学校まで来て、懐かしそうに写真を撮っている姿がまるで少年のようでした。



3月の予定

- 1日（木） 学校評議員会
- 2日（金） 6年生校外学習
- 5日（月） 6年生を送る会・学習発表会、懇談会（15:10下校）
- 12日（月） 街頭指導
- 17日（金） 第139回卒業式（11:30下校）
- 22日（木） 給食最終日、大掃除（14:30下校）
- 23日（金） 大掃除、通学団会議、修了式、離任式（11:30下校）



マナウスはフルーツ天国

引き続きフルーツのお話です。学校もフルーツ天国でしたが、マナウスの街も、もちろんフルーツ天国です。スーパーマーケットはもちろん、街のあちこちにフルーツ屋台があつたり、信号待ちをしていると売りに来たりと、いろんな所でフルーツを買うことができます。

①**アバカシ (abacaxi)**・・・パイナップルです。マナウスのアバカシはとても甘く、芯まで食べることができます。サンパウロからマナウスへ来た人たちは、お土産としてアバカシを買っていくのが定番です。アバカシのおいしさを見分けるコツは、葉っぱを上引っぱったとき、1枚ずつずつと抜けてくるのが熟しておいしいとのこと。

②**バナナ (banana)**・・・日本ではバナナの産地で区別することが多いですが、マナウスでは品種で区別しています。(紀南ではみかんを品種で区別しているのと同じです) 一番好きだったのは、やや小ぶりの banana maça (バナナマッサ：直訳するとリンゴバナナ) で、これも甘くておいしかったです。

③**クプアス (cupuacu)**・・・外側が固い殻で覆われていますが、殻を割ると白いつきたてのお餅のような果肉があらわれます。この果肉はそこにある種を覆っていて、バラバラにすることができます。この果肉を食べるのですが、とても甘くておいしいです。これはホワイトチョコレートや高級なチョコレートの原料になるのですが、よくご存じのカカオとはまた別のものです。殻は固くて割るのが大変だし、果肉はハサミを使わないと実からはずれないし、口にするまでとても手間のかかるフルーツなのです。



④**ココ (coco)**・・・ヤシの実です。ときどき日本でも見かけることがあります。実の中に入っているジュースを飲みます。ほどよい甘さなので、暑いマナウスでの水分補給にはぴったりです。実の内側の白い部分を削って乾燥させるとお菓子作りに使うココナッツパウダーになるのですが、ジュースとして飲む実はまだ成熟していない実なので、パウダーができるかどうかは「？」です。



⑤**アサイー (açai)**・・・ヤシ科の植物で実の外見はブルーベリーのようにも見えます。非常に栄養価があり、特にポリフェノール、鉄分が豊富に含まれています。マナウスではピューレ状にしたものに砂糖とタピオカを加えて食べます。濃い紫色をしています。色を除けばヨーグルトのような感覚です。濃い色をしていますからひと口食べてにこっとすると、お歯黒のようです。我が家の娘も食べる度にしていました。

